



とどろき おおのはらちく 轟・大野原地区コミュニティ

事務局だより 12月号

師走の候、22日の冬至を前に、日暮れが日増しに早くなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。夕焼けがきれいだと思っていると、本当に、秋の日は釣瓶落とし。6時前でもう暗闇です。自転車下校の中学生、ちらちらと揺れる二つの白い光は交差点で分岐し、それぞれの家路へと加速して行きます。

「じゃーなー!」「明日なー!」
“明日な”。・・・いい言葉だな、と しみじみ噛み締めました。

* * *

この方の帰宅は20年先だったかもしれません。福岡県出身の中村医師が志半ば、遠く6,200kmの地で利権争いの凶弾に倒れました。73歳にして、明日からの新たな20年計画を立てていた矢先だったと言います。「今、彼は本当に悔しがっていると思う」と仲間の男性が搾り出した言葉が全てを表しているようでした。日が経つにつれ、その人柄と功績は想像を遥かに超え、やり場のない悔しさを、おそらく日本や世界中の人々が、自分のかけがえのない人に置き換え、震えたのではないのでしょうか。

ただ、同時にその遺志は留まる事なく家族や有志に引き継がれていることも伝わってきました。人間の底力を見た気がしました。

* * *

令和元年、地域の皆様にはいつも助けて頂きました。心より感謝申し上げます。嬉しいこともあり、哀しいこともありましたが、新しい年もまた「明日ね」と言える、穏やかな日々を送れます様に。どちら様も良いお年をお迎えください。



大野原小中学校

もちつき会

12月8日(日)ふれあい餅つきと、来春卒業する7名の「立志の誓い」発表がありました



大野原小中学校もちつき会・立志の誓い



この日は快晴。そして風もなくのどかな気持ちの良い餅つき日和でした。子供達・PTAの皆さん・先生総出の作業。特に若いお父さんの活躍が目立ちました。かまどでお湯を沸かし、もち米をつきます。つき上がったお餅は、女性や子供達の手で湯取り餅やヨモギ餅、あんこ餅になり、その間に手際よく道具を洗い、重い石臼も皆で転がして軽トラに載せて撤収といった具合です。自然と、就学前の妹さんはお兄ちゃん達を見よう見まね、ほうきを持ってお手伝いします。弟さんは、お父さん達に混ざり重い板を動かすのを手伝おうとします。「危ないからあっち行ってなさい」なんていうのはなく、「おーすごいぞ」等と言いながら、みんな温かく見守り、いざという時はフォローをするのです。16世帯、28名の児童生徒を中心に、家族ぐるみで子育てをしている印象でした。



後半は体育館で、「立志の誓い」の発表が行われました。3月に卒業する中学生4名、小学生3名が1人ずつ、志を述べます。中学生では、高専を目指す子、医療の仕事に就きたい子、まだはっきりと決められない子、と様々に、臆することなく気持ちを言葉にします。目の前に、聞いて、受け止めてくれる環境があるからでしょう。 🌸 🌸 🌸

6年生の女の子はとても人懐っこく、「作った新聞を見て！」と声をかけてくれました。壁には、5・6年生で共同制作した、お米作りに関する壁新聞が展示してありました。とても丁寧な文字で書かれ、そしてネットに限らず色々な資料を探したのでしょう、切り貼りも多く使われていました。5・6年生の5人で協力した過程は、今後きっと大きな糧になるはず。伸び伸び育つとはこういうことだと、この3年間、大野原小中学校を見て来てつくづく思いました。昨今、『自己肯定感を“得させる”にはどうしたらいいのか?』などという問いが巷で飛び交い、どうも大人のエゴのようで馴染めませんが、ここではそういう課題が持ち上がる前に、子供はしっかりと周りに受け止められ、安心して個性を発揮しながら大人になっているように感じます。



不動ふれあいまつり

祝30周年

十二月 一日 (日) ふれあい体育館にて、不動地区振興会主催の

「ふれあいまつり」が開催されました。振興会は創立三十周年を迎えられ、多くの来賓の方もお出でになり、桜の植樹も行われました。おめでとうございます。



「このグラウンドでソフトボールの試合を一度に二面使っていたくらい、俺たちの頃は人が多かったよ」(ベンチアーズ様・談)と懐かし



そうに語ってくれました。人口は減少していますが、地区の拠点として三十年間こうした集いを続けられていることは素晴らしいと思います。ふれあい会の女性達は、茶祖・新兵衛さんの曲に合わせ、また客席の方も一緒に踊り披露されました。午前中は、つくしたてのお餅や、女性の皆様手作りのだんご・おにぎりの汁・おにぎりの汁



振る舞いでおもてなし頂き、大変美味しかったです。ごちそうさまでした。合い席になった方もお話ができてほのぼのした雰囲気癒されました。他にも男性方によってポン菓子を作られ、(初ポン菓子だったため)あまりの爆発音の迫力に、柄にもなく、ちょっとびくびくしてしまいました。野菜の品評会では、丹生込めて作られた農産物が並びました。朝市でも常連さんの中村修さんは十六種類も出品され、複数受賞されました。中でも白菜の巻き方の締まりはピカイチだったそうです。販売開始時には今年も嵐のように人がなだれ



振興会長・中村増幸 (下不動) 区長

込み、少々おののいたほです。他にも芸能の部で猿回し、嬉野ベンチアーズの演奏などが披露されました。



役員・関係者の皆様

大変お疲れ様でした





轟小注連縄づくり



12月8日(日)

今年も、上岩屋区の大山佐吉さんと青木保さんを指導者にお迎えし、青少年育成部会として5年生の親子行事のお手伝いをしました。地域の方も快くお引き受け頂き、本当にありがとうございました。またPTAの皆さんも積極的に準備をして頂き感謝しております。今回は市報の表紙撮影の為、広報広聴課の島村様、カメラマンの松尾様にもお世話になりました。発行が楽しみです。



右から末永会長、大山佐吉さん
青木保さん、伊東博幸さん部会長
太田武美さん、松永容子さん
一ノ瀬紀美さん、山口秀臣さん
吉川昭勝さん、有難うございます



助手デビュー・孫の晴生君

大山さんは8月11日、稲を青い内に刈り、干し藁打ちまでしてくれました



真剣に説明を聴かれる皆さん

お礼の言葉



菊づくりも名人・武美さん



いよいよ仕上げの飾りをつけます



立派な注連縄の完成です ありがとうございました